

令和4年度 経営発達支援事業評価報告

経営発達支援事業

平成27年12月認定を受けた経営発達支援計画を実行し5年計画の3期目が終了しました。事業計画策定者のフォローアップに力点を置き事業を進め、概ね順調に事業実施ができたと考えます。

事業成果を上げていくためには、業務体制の見直しや経改事業と経営発達支援事業の効率的な推進体制を構築してまいりました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により市内小規模事業者支援（金融、施策、補助金）が増加した為、経営発達支援事業の変更（事業縮小）しなければいけない事態となりました。

既存業務のバランスを考慮しながら、円滑な事業運営を推進してまいりました。

(1) 地域の経済動向調査に関すること

経営発達支援事業を行う上での基礎情報収集と蓄積を中心に行い、数値目標に関しては下振れしているが、小規模事業者へのヒアリングで経営課題や支援ニーズなどの整理ができ、事業方向性を見つけ出す資料となり一定の成果があったと考えます。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
地域内景況感把握収集数	240	228	収集した情報の提供	4	4
経済動向・課題の整理分析会議	4	4			

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
A	昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響が続き、経営相談対応など本事業とは別に行う業務が増えた状況下であった、且つ、同感染症の感染防止のため、企業訪問にもある程度制限を受けつつの収集数の達成率95%、前年対比ほぼ100%は非常に評価できる。（中川） 概ね計画とおりであり評価します（新谷） 概ね目標に近い実績を達成しました（門馬）

(2) 経営状況の分析に関すること

経営課題のある事業者の掘起こしのため、巡回時のヒアリングや決算データの把握を通じて、事業計画書の重要性について理解をしてもらい、経営を「見える化」することによる、計画的な取り組みについて支援しました。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
経営分析・財務分析	120	64	経営分析セミナー開催	1	0

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
B	経営状況分析に関しても、前年度同様新型コロナウイルス感染症の影響により、分析よりも策定及び策定後のフォローアップを優先し、より早く支援先が回復できるような緊急対応を行っていたため、件数は半減しセミナーも実施していないが、この状況下での目標値50%、前年対比200%の実績数としては、一定程度評価できると考える（中川） 経営の見える化は、計画策定に重要なものであり今後も継続的な支援を期待します（新谷） 目標の半分程度であったが、コロナ関連の支援実績等を勘案しBとしました（門馬）

(3) 事業計画策定支援に関すること

セミナー等の開催は新型コロナウイルスの影響で減となりましたが、伴走型小規模事業者支援事業による販路開拓事業や持続化補助金など事業計画作成のきっかけの下地により、一定の成果を得る事が出来ました。

※創業塾は年2回から年1回に変更・後継者塾は中止

※事業計画策定セミナーは、経営分析セミナーの内容を兼ねる内容に修正して、年1回から2回開催で対応。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
創業塾開催数 (受講者数)	2 30	1 9	後継者塾開催数 (受講者数)	1 30	0 0
事業計画策定事業者数	60	50	創業計画策定支援者	5	5
事業計画策定セミナー (受講者数)	1 10	2 延べ6			

委員会評価	評価委員コメント (評価・見直し等)
A	新型コロナウイルス感染症の影響により、セミナー等の開催実施数を減らしているが、事業計画策定事業者数は目標まで届かないものの昨年度の実績数を大きく伸ばすとともに、創業計画策定支援者数が計画数に達したため、評価できる。(中川) 新型コロナウイルスの影響により実施しなかったり、受講者等が減少したこと等は止むを得ない部分でもあり、今後の継続的な支援を期待します(新谷)

(4) 事業計画策定後の実施支援に関すること

事業計画作成者に対し、計画実行に必要な資金調達など継続的なフォローアップを行いました。また、創業間もない事業者へ経営基盤安定化に向け、経理税務や労務支援を行いました。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
事業計画策定者フォローアップ	60	50	創業計画策定者フォローアップ	5	5
事業計画フォローアップ頻度	240	262	創業計画策定者フォローアップ頻度	20	7

委員会評価	評価委員コメント (評価・見直し等)
A	事業計画策定者フォローアップ頻度のみ計画の半分以下となっているもの、そのたは計画にどおりであることから非常に評価できる(中川) 今後も継続した支援をお願いします(新谷) 各種フォローアップを効果的に行っていました(門馬)

(5) 需要動向調査に関すること

経営状況の把握や経営分析を実施する際、外部要因を把握することにより、地域内の需要動向を把握に努めました。また、業種別審査辞典やインターネットを活用した需要動向の情報提供を行いました。

※物産展出店支援は、新型コロナウイルスの状況を加味し、中止。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
需要動向の整理・分析会議	4	4	外部データの活用	60	11
物産展時のアンケート調査 実施事業所数	2	0			

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
B	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、物産展出展支援を中止したため、数値は下回っているものの、まったく動いていないわけではなく、分析会議や外部データを活用していることなどから一定の評価はできる。但し、外部データの活用が昨年から伸びていないことから、再度検討してみても良いかと思える（中川）</p> <p>新型コロナウイルスの影響により物産展支援を実施されなかったが、外部データ等を活用した需要動向の整理・分析は計画通り行われており評価に値する（新谷）</p> <p>コロナ禍の影響も改善してきており、今年度の活動に期待します（門馬）</p>

（6）新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事

中小企業診断士等の専門家と連携した販路拡大支援や「小規模事業者持続化補助金」の採択を受けた事業者の販路開拓支援を実施、紙面広告（ライナー広告）や映像プロモーションビデオ作成支援事業を実施。新規顧客獲得や売上増など一定の成果があったことに加え、提供した需要動向を基に新たな事業展開をする事業者の輩出もできました。

インターネットを活用した販路拡大セミナーは HADAKADENNKYUU 星野智哉氏（会員）を講師に迎え「かんたんチャレンジしてみよう動画作成」開催し17名の参加し寄与した。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
ビジネス EXPO 出店事業者	3	0	北の味覚再発見出店事業者	2	0
地場産フェア出店事業者	5	0	地域フリーペーパー広告事業者	30	30
映像プロモーションビデオ事業者	20	10	ゲーペ登録件数	425	175
日本セレクト出展企業数	2	0	インターネットを活用した販路開拓セミナー	1	1

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
B	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントが中止若しくは出展自粛の影響から未達実績が多くあり、且つ、支援先のほとんどが同感染症の影響により経営支援の優先度が高かったことを考慮すれば、プロモーションビデオの作成やフリーペーパーへの広告出店など、実施している事業もあるため一定程度評価できるものだと考える。事業者の商圏の把握、聴き取りをし実施し、上記の物産展支援に留まらずニーズに沿った物産展支援も検討してみてもどうか（中川）</p> <p>新型コロナウイルスの影響で実施されなかった事業はあったが、IT 活用セミナーや、フリーペーパー、PV 等非対面コンテンツを活用した取り組みは評価できる（新谷）</p>

（7）地域経済の活性化に関する事

2期目の計画から旭川市内の地域情報を収集できる協議会に参画する事、若手リーダーの発掘と支援育成により地域活性を図っていく事となっております。

若手リーダー資質向上を図る為の各種セミナー参加（ゲッグルワークスペース研修・事業承継セミナー）延べ4名参加、また青年部員の職場紹介による広告媒体掲載で新たな販路拡大、知名度向上を図りました。観光需要を見据えたセミナーの開催は新型コロナウイルスの影響で中止と致しました。

事業内容	計画	実績	事業内容	計画	実績
地域経済活性化に資する協議会に参画	8	6	観光需要を取り組むためのセミナー	1	0

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
B	<p>新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、昨年実績と横ばいであることから、一定程度評価は出来る（中川）</p> <p>新型コロナウイルスの影響によりセミナーは実施されていないが、地域経済活性化に資する協議会に参画されることは、地域のまちづくりにとって重要なことであり、評価できる（新谷）</p>

（8）経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

新型コロナウイルスの影響も緩和され、指導員各々が日本政策金融公庫、旭川産業創造プラザと補助金、施策等の情報交換を実施し円滑な事業運営を推進した。

2.経営指導員等の資質向上等に関すること

①各種研修会への参加

北海道商工会連合会が主催する職種別等の研修会への参加でき、資質向上に努めた。

②経営指導員会議による情報交換

2ヵ月に1回程度指導員会議を開催し、経営支援情報や研修内容の情報共有化を図れた。

③専門家の支援ノウハウ習得

小規模事業者各々の経営課題解決に向け、課題に応じた専門家を派遣し支援強化が図られた。

伴走型小規模事業者補助金による専門家派遣 延べ14事業者

個別講習会（商工会予算）による専門家派遣 延べ2事業者

むらおこし事業による専門家派遣 延べ1事業者

合計 17事業者支援

④全職員参加のカンファレンス会議

1月12日土曜日9時から13時 事業所2社事例紹介、講師に中小企業診断士後藤直樹氏を迎え開催した。

3.事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

①評価委員会による評価の実施

新型コロナウイルスの影響を考慮し、委員の方に巡回し資料説明を行い、書面により評価を頂いた。
令和4年5月中旬（年度評価）、令和4年10月中旬（中間報告）

②事業の報告 事業の評価や見直し案について三役会や理事会で報告いたしました。また総代会へ報告し承認を受けました。

③事業の公表 事業の評価や見直し結果をあさひかわ商工会のホームページで公表しました。

委員会評価	評価委員コメント（評価・見直し等）
A	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各種団体との会議が中止となっている状況下でありながら、指導員各自が関係機関と各種制度の情報交換を行いながら、専門家派遣などを行っており、支援先のために本事業を実施していることが伺える。今後はアフターコロナに向けた事業の進め方やIT・WEBを活用するなど、多少見直しが必要になると思われるが、基本的な事業内容はこのままで良いと思われる。今後も支援先のために活動していただきたい（中川）</p> <p>新型コロナウイルスの影響のなか、専門家を活用しながら各事業に取り組まれたことは評価に値する。今後も引き続きアフターコロナに向けた支援等発展した内容や成果を期待します（新谷）</p> <p>計画とおり活動し、高い効果も得られました（門馬）</p>